

杉並区立西田小学校 令和4年度第5回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和4年9月26日(月) 午後4時30分から午後5時40分
- ・場所 校長室
- ・出席者 諏訪会長、恵羅、鈴木校長、渡邊、目黒、中澤、望月、山内、半澤、檜枝(記録)
【事務局】神近副校長(司会)
- ・資料 資料1 令和4年度第5回学校運営協議会次第
資料2 文科省武藤久慶氏プレゼンより
資料3 青少年委員だより第79号(令和4年7月14日)
資料4 わたしのおぎくぼ358号(2022年8月・9月)
資料5 私たちのワクワク・ビト 新・荻窪はっけん伝第2章

1 会長挨拶

- ・昨日、一昨日と稲刈りをした。
- ・「児童生徒の異変と当面の対応について」(資料2)について解説をした。
 - *小中学生の間で発達障害(の可能性)、不登校、暴力行為、虐待相談が急増している。2013年以降の不登校の急増要因は何であろうか。
 - *いじめの主役は小学生、しかも低学年に集中している。
- ・「小学生の暴力行為の急増」「いじめの低学年化」と、「発達障害(の可能性)の急増」を併せて考えると、自制心などをつかさどる脳神経系機能の発達の遅れが大きな要因として疑われる。
- ・ネオニコチノイド系殺虫剤、グリホサート系除草剤は有害性を指摘する研究が急増している。科学的に因果関係が十分証明されない状況だが、「予防原則」の観点から、農薬の削減と有機農業の拡充が求められている。
- ・西田小CSとしても、学校給食の有機農産物化を教育委員会や区役所、区長に働きかけるべきではないか？

2 校長挨拶

- ・発達障害が増えていると感じていたが、資料2のデータで示されて納得した。
- ・保護者が関係者に依頼しながら作成する就学支援シート「すばるⅡ」を提出した児童については保護者に認識があり学校も事前に知ることができ「個別指導計画」を作成する際に参考にできる。提出しない児童については教員が判断するしかない。
- ・不登校の原因も多様であるが、虐待が推察される場合もある。対応は学校の役割と認識している。
- ・保護者の多様化が著しく対応に苦慮する場面が増えてきた。専門家が常駐していれば良いが、現実には1週間に1日だけ。
- ・80周年の午前企画、記念集会と西田博覧会は児童主導で進んでいる。
- ・西田小のコロナ感染者数は増加傾向にある。

3 80周年について

- ・80周年記念行事実行委員会（地域・保護者の部）が本日2時～4時30分に開催され、午後企画の「80周年を祝う会」の検討が進んだ。CS委員全員が前記委員会の委員であるので、重複を避けるためここでは審議を行わないことにした。議論の内容は実行委員会議事録を参照する。

4 未来の学校について

- ・CSと西田小の共催で3月4日（土）午後で開催する。詳細は、担当の秦先生と諏訪会長で相談して決定する。なお、同日午前にESD子供報告会を計画している。

5 その他

- ・資料3、4、5が配布された。

10月学校運営協議会開催予定

10月24日（月）午後4時00分～午後5時30分

なお、同日2時より第15回80周年記念行事実行委員会（地域・保護者の部）開催

以上